



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

R6,6,5 No,11



八代小ホームページ

今年度が始まって早2ヶ月が経ちました。6月は、体調を壊しがちな時期でもありますので、「早寝、早起き、朝ご飯」でお子様の頑張り支えてください。

少人数できめ細かな指導をしています

本校では、3年生以上の算数科の指導は、担任と算数少人数指導担当教員の2人で指導しています。二つの教室に分けて、それぞれに指導者を配置することで、少人数によるよりきめ細かな指導を実現しています。

この効果は大きく現れており、昨年度の熊本県学力・学習状況調査では、実施された3年生以上の全学年で全国並びに熊本県平均を大きく上回りました。これからも子供たちの実態やニーズにあった指導をし、子供たちに確かな学力を身に付けさせたいと思います。



人権同和教育レポート研究会が本校で行われました

5月29日(水)の午後から、本校で「八代市学校人権同和教育第一中学校区レポート研究会」が行われ、八代市立第一中学校、代陽小学校、松高小学校、熊本県立八代中学校と本校の全教職員が参加しました。

本研究会は、「差別の解消に向けての取り組みを交流する場」、「子供に深く関わる実践を積み重ねていく契機とする場」、「子供のことを語り合い深く関わるための小中連携の場」と位置づけられ、「広め・活用し・つないでいく」ことを目的としています。

開会行事の後、早速、第1分科会では松高小学校と第一中学校から、第2分科会では松高小学校と代陽小学校から、第3分科会では八代小学校と八代中学校から実践レポートの発表がありました。その後、分科会毎の討議の柱に沿った意見交換、協力者のまとめの講話がありました。

今後、本研究会で得た「深い児童理解のための寄り添い」「愛情あふれる取組」「児童の個性(実態)に応じた取組の模索」「学校総体となった取組」をキーワードに、本校の人権同和教育の取組を更に充実させていきます。



救急救命に係る研修を行いました

先日の校内教職員研修では、アレルギー疾患に係る緊急対応及び心肺蘇生やAEDを使った救急救命法について学びました。(子供の命を守る重要な研修ですので毎年実施しています)

いざというとき、いかに速やかに救命措置をとるか、いかに速やかに救急車を要請するか、いかに他の子供たちを落ち着かせるかなど、実演を通して見えた課題の改善に先生たちは真剣な表情で取り組んでいました。

子供たちの安全・安心を守ることは、学校教育活動において最優先されることです。今回の学びを生かして守っていきます。



「床を磨いて心を磨く」清掃活動頑張っています

掃除の時間に校内を見渡すと、一生懸命にぞうきんがけなどをしている子供をたくさん見ます。

清掃活動には、「きれいにする」という以外に、「勤労の価値観、協力、分担、美的感覚、思いやり」などを養う目的があります。また、清掃活動を通して、「当番活動の役割や働くことの意義、奉仕活動への意識やその喜び」なども体感することができます。

一生懸命にぞうきんがけなどをしていた子供たちは、このことを自然と身につけていることと思います。まさしく、床を磨いて心を磨いています。

